



ライオンズクラブ国際協会
336 - A地区2R - 4Z

2011年 **10**月号

No. 413



第1200回例会記念アクティビティー 駅前清掃奉仕

2011.10.25



SAIJO LIONS CLUB

SAIJO LIONS CLUB

SAIJO LIONS CLUB

2011—2012

国際会長

ウィンクン・タム

モットー 「 WE SERVE(われわれは奉仕する) 」
ハイライト 「 ! Believe ~ 信じる ~ 」

336 - A地区ガバナー

菅 武 廣

スローガン 「 豊かな 明るい未来に We Serve 」
キーワード 「 愛 」

336 - A地区2RC

田 村 征 夫

キーワード 「 本物志向 」で

西条ライオンズクラブ会長

明 比 紳 一 郎

スローガン 「 はばたけ 未来へ 感謝を込めて WE SERVE 」
キーワード 「 新たなる一歩 」

西条ライオンズクラブ第1200回目の記念すべき例会に際し、10月25日(火)早朝6時20分、西条国際ホテルに集合し、駅西通りと駅前本通りの二手に分かれ、清掃奉仕を行いました。今までは、クラブ事務局周辺の産業道路沿いを清掃していましたが、9月のクラブ事務局移転に伴い、今回の清掃奉仕場所に変更となりました。

西条祭りも終わり雨も降る中(寒い朝でした)、クラブメンバーもたくさん集まり清掃活動をしました。空き缶やタバコの吸殻を中心に、ゴミ袋3ばい分が集められました。

朝起きたときには寒かったのですが、清掃終了時には、額に汗するメンバーの清々しい笑顔がまぶしかったです。1日の始まりに大変気持ちの良いことができ、幸せな気分でした。皆様、お疲れ様でした。



肌寒く感じる早朝でしたが、道端に落ちているゴミを拾いながらの散歩は一石二鳥の効果がありますね

最優秀賞

第24回国際平和ポスターコンテスト



神拝小学校6年 佐々木 颯さん

今年も例年にならい、西条市立神拝小学校5年6年生を対象に、国際平和ポスターコンテストを開催しました。今年は応募作品が大変少なく、今後の平和ポスターコンテストのやり方を、見直す必要があると感じました。しかしながら、応募されたポスターは、どれもとても丁寧で、また、図柄から「平和への思い」が感じ取れ素晴らしい出来栄でした。10月第一例会の中で、メンバーによる審査の結果、作品1点をキャビネットに提出することにいたしました。



ポスターの裏には平和へのメッセージが綴られていました。



6年 伊川真央さん



5年 高橋龍太郎さん



6年 伊藤綺英さん



6年 岩佐舞莉亜さん



夏場だというのに、床が湿っぽい。湿気で靴が滑りそうだ。冷房のスイッチを入れてみた。吹き出し口から何やら異臭がする。

ここを事務局としていいのだろうか。

この湿気は、どこから来るのだろうか。地面からコンクリート床を伝わってくるのだろうか。

気になる。心配になる。原因を確かめる為に、床仕上げ材のビニールタイルを部分的に剥がしてみた。しかしコンクリートは乾燥した状態で水気が無い。地面からコンクリートに伝わっていなかった。ならば原因は部屋の湿度が高い事で、天井裏・屋外・廊下の温度差からできる結露だ。床に結露水が溜らない対策・床面で結露しない断熱を考えなければいけない。床タイルカーペットを敷き込む事にする。はたして、床断熱の効果はあるのか、結露はしないのか。不安だが、過剰な対策をするより、これが低予算で最善策だと考えた。

打合せを重ねるたびに各専門家の意見で、細かな作業が煮詰まって行く。エアコンのフィルターと配管内の汚れ清掃・床の段差押え・北側扉の気密・流し配管の化粧・ラン配線の経路等・事は細部に至る。

引越しの分担は、委員会別をお願いすることにした。会員委員会には書類の仕分け、環境委員会には写真とビデオの仕分け、Y E ・ P R 委員会には倉庫の仕分け、解体係は計画委員会、運搬設置は計画・青少年委員会、移転先設置整理は執行部におまかせした。

歴代会長の写真は額から取り外して丁寧にコンパクトに保管、取り付け用のビスまで外してある配慮に驚く。何十箱も用意してくれたダンボール箱には、行き先・品名まで記入してある。倉庫の荷物は、前もって移転先倉庫に移動してくれていた。引越しの前日、商工会議所の事務局をのぞいてみた。そこでは、お皿を丁寧に梱包している人がいる。黙々と手を動かす姿に感謝、さすがライオンズのメンバーだ。何よりも事務局員の段取りには感心させられた。

引越し当日は、雨・・・強行・・・決行だ。

箱バンを出してくれたメンバーはダンボール箱を運搬した。おかげで雨に濡れなかった。誰が準備したのか、数台の平台車は不揃いな荷物を程良く載せてスピーディーに運んでくれる。コピー機は、3トンユニックが活躍した。全身ずぶ濡れでも、コピー機には細心の注意を払う人がいる。雨が幸いしてか、棚・ロッカーが洗浄された。だが拭き取りが大変で雑巾が大活躍する。御陰様で、廃棄になった書類は焼却処分に、保管する書類は所定の棚・ロッカーに納まり、ひと段落。雨の中の引越し、文句が出てもいいはずなのに、皆明るく作業してくれた。本当に良い仲間である。



事務局の湿気は、引越し後も変わらない。コピー機も書類も湿っぽい。執行部で用意してくれた除湿機は、容器4.5が一日で一杯になると言う。季節的な事なのか、それとも年間通してこの状態なのか、しばらくは除湿機に頼るしかないようだ。観葉植物や花そして掲示物が整備されると事務局らしくなった。以前より広いせいか、ゆったりと感じる。スモークガラスの霞具合・明るくなった天井と壁・床カーペットの柔らかさが居心地良い。

新しくなった事務局に皆が足を運び、以前にも増して活用できる事を期待したいと思う。

クラブ事務局 清祓い式



クラブ事務局移転というクラブ始まっての一大行事を9月末に終え、新事務局での業務もやっと通常通りになり、雰囲気の変った事務局にようやく馴染みはじめた10月11日(火)の午前11時より、石鏡神社宮司様に清祓いの儀を執り行っていただきました。当クラブでは、毎年新年1月の第一例会に、この清祓い式を行っていますが、厳粛で厳かに執り行われる天照皇大神様へのお祈りは、参列した我々の身も心も引き締めていただきました。クラブの更なる発展と会員一同の健康と安全を願い、無事終了しました。



伊予三島ライオンズクラブ結成50周年記念式典

幹事 植木光夫

10月22日(土) 伊予三島ライオンズクラブ結成50周年記念式典に明比会長、安藤第1副会長、伊藤地区委員と私の4名で参加してまいりました。スポンサークラブの北九州ライオンズクラブ、友好クラブの秋田山王ライオンズクラブ、海外からも台南市名人獅子会など多くのメンバー参加のもと盛大に開催されました。西条ライオンズクラブより1日早い昭和36年10月18日に結成されたそうで、現在は若き薦田謙一郎会長のもと総勢41名で活動をされております。当クラブ



も今年の5月に一足早く、50周年の大会を終えましたが、半世紀の歴史を刻んだライオンズクラブとして共に切磋琢磨して活動しましょう。

まずは、一大事業を終えられましたこと、お祝い申し上げます。

2リジョン親善ゴルフ大会に参加して



10月1日(土) 絶好のゴルフ日和に恵まれ、2R親善ゴルフ大会が滝の宮カントリークラブにて開催されました。総勢109名のプレーヤーの中、西条ライオンズクラブからは11名の精鋭達で挑みました。結果、個人の部では宮崎英明Lの4位に始まり、ライオンズ初デビュー戦となった新田公洋Lが「再会賞」をゲット。豪華賞品を獲得し、皆にっこり。団体では11クラブ中5位の成績をおさめることとなりました。





平成 23 年 3 月 11 日、東日本大震災勃発。その大津波の惨状は、日々絶え間なく報道され、自然の脅威に茫然自失。又、現地を目の当りにした方の言葉は、写真や画面で表現できぬ現状を、深い溜息と共に口にされる。

世は第三の波 コンピューター主役の視覚偏重時代。全てが映像化され、画面の中で生死がコントロールされる。我々の感性は、眼、耳、鼻、舌、身の五感そして、意(心)の六感と調和が大事であることに、人の人たるゆえんがあるのだけれども・・・。

つい先日、第 3 の波を牽引してきた、米国アップル社、カリスマリーダーの若き死に、世界が、その創造力と感性を失った深い悲しみに包まれた。彼の残した言葉「人々よ。貪欲であれ。そして、愚かであれ。」の言葉は美しく衝撃であった。なぜなら人は人であれ！決して「情」という人の本質を忘失してはいけない・・・！と聞こえるからである。

さて本年、愚僧は還暦そして厄歳。赤心に還り無邪気な一年をと念願しつつ、節分を迎えた次第である。しかし、この世は無常そして、無情。兼務している黒瀬光昌寺の御本尊十一面観音坐像(西条市重文指定)他三体の仏像盗難事件との遭遇。幸いにして御本尊様と他一体の仏像は犯人逮捕と共に、お寺にお帰りする事となり 9 月 1 日、松山東警察署に参上、本堂に大いなる喜びをもって無事復帰。それも束の間、翌日 2 日夜半からの台風 12 号災害。なんと二日間の雨量が 96 ミリという想定外の莫迦降り。石鎚山表参道である県道西条久万線の自坊の約 100 メートル手前、そして石鎚山登山ロープウェイ駅の 3 キロほど手前の二カ所が大規模な崩落。又、迂回する市道も土砂災害にて孤立化の難儀となる。平成 16 年 9 月の台風災害は、もっと凄惨な状況ではあったが、往時の私共の元気は今もなく、己を奮い立たすのに漸くの体である。そして、さらに、追い打ちをかけるが如く襲った台風 15 号は、仮復旧目前の上流の道路を無残にも元の姿に押し流してしまった。当地域は過疎化高齢社会の先端地である。愚僧、未だ青年団的立場且つ、自治会責任者としての責務に翻弄されつつ、9 月末日の仮復旧工事開通までの 1 ケ月は、現世相の窮状と相まり意気消沈。悲嘆やるせなく長き日々の連続となる。そんな時、届けてくれる励ましの声やお見舞は、深い人情の機微、感謝と貴さに、いたく勇気づけられるものであり、「ありがとう。」が身心に浸みいる。人って善いなあ～。である。

今秋、母校小松高校野球部創立以来初めての四国大会出場の快挙を聞き日々心踊らしている。更に、明春の選抜大会に出場などという想定外の事態になれば、この身と心は、これも想定外の事態となるであろう。それを期待希求しつつ無情の筆を置く。

10 月第 1 例会

内部卓話

講師：土取孝弘様



「福島原発の事故を踏まえた伊方発電所の対応について」

四国電力(株)西条発電所所長に講演をしていただきました。福島原発事故による近隣地への放射線被害など

我々が不安に感じている事等について説明、質疑応答等わかりやすく、お話いただきました。知らずに怖がっているよりも、確かめ、理解することで不安は随分と軽減されるものだと思います。



Q1. 放射線は怖い？

A) 日々の暮らしで自然に放射線を受けています

自然界にはもともと放射線が存在します。人が 1 年間に受ける自然放射線の量は世界平均で 2.4 ミリベールです。100 ミリベール以下なら健康への影響は確認されていません。

事務局 益田登美

去る10月4日(火)伊予小松ライオンズクラブ10月第1例会に会長をはじめ11名で例会訪問をさせていただきました。会場は、みんなが羨むあの「MARUBUN」。西条石鎚ライオンズクラブさんから7名の方が訪問され、大変賑やかな例会となりました。

大西ライオン・テマーによる開会宣言に始まり、例会は粛々と進む中、ところどころ和やかな会話で会場は盛り上がりました。会員数の少ないクラブではあるけれども、地元に着したアクティビティーや、毎年行っているアクティビティーなど、実に多く実施されているなと感じました。

また、各委員会からの活動報告やクラブのブログアクセス数等大変細やかに報告された例会資料にも感動しました。参考にさせていただきたいと思います。

懇親会では、MARUBUNさんのお料理と楽しい会話があちこちで交わされ、親睦を深めました。お互いのクラブの良さを実感しつつ、日頃よりクラブで抱えている問題等も話したりでき、大変有意義な時間を過ごすことができました。事務局にとって、お隣とはいえ、他クラブの例会に訪問させていただくことは初めての体験でしたが、各クラブの皆さんが心を寄せ合い笑顔で交流している場に参加でき、とても嬉しかったです。

伊予小松ライオンズクラブの皆様、大変お世話になり、また心温まるおもてなしをしていただきありがとうございました。



クラブ会長様にお心遣いいただき、各クラブ事務局に素敵なお花をプレゼントしていただきました。

編集後記

もし、お金を拾ったとしたら……。警察に届けるべきだという話は抜きにして。

愛媛の人はモノを買い、高知の人は酒を飲む。徳島の人は商売を始め、香川の人は貯金をする。あくまで県民性を例えた話です。総務省統計局の資料に依れば県民1人当たりの個人預金残高は、四国は比較的上位にあるそう。ちなみに私はといえば、借金あれど預金はなし。そんなことはさておき、郷土を愛する市民による「西条祭り」も終わり、日に日に秋が深まっています。

自然に恵まれた西条の四季が織り成す風情に感謝・感激を忘れない人でありたいと思うこの頃。

健康にも十分に気をつけて元気にライオンズライフを楽しみましょう。

PR・広報委員 仁後真貴雄

発行所 ライオンズクラブ国際協会 336A地区 2R4Z
西条ライオンズクラブ
事務局 〒793-0030
西条市大町771番1 ←移転しました
西条国際ホテル内1F
TEL (0897)56-3980
FAX (0897)56-9251
E-mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp

発行者 会長 明比紳一郎
幹事 植木光夫
PR・広報委員長 土居恵三
編集委員 今岡正士・明比昭治
仁後真貴雄・盛實正人
瀬川大秀・伊藤隆治
例会日 第2・第4火曜日
例会場 西条国際ホテル
印刷 西条ライオンズクラブ事務局